

带状疱疹予防接種を受ける前に(説明書)

- ★带状疱疹は体の中に潜伏した水痘带状疱疹ウイルスが再活性化することで発症する皮膚疾患であり、合併症の一つに「带状疱疹後神経痛」があり、日常生活に支障をきたすこともあります。ワクチンの接種によって、带状疱疹や合併症に対して予防効果があることが認められています。
- ★接種を受ける法律上の義務はありませんが、接種を希望される場合は、下記の注意事項をよく読み、十分に理解された上で接種してください。接種にあたってはご本人の意思確認と署名が必要となります。

1. 一般的注意事項

- ・必要性や副反応について十分に理解いただき、気になる点や不明な点があれば、医師や看護師におたずねください。
- ・説明を受けても十分に理解できない場合は、接種を受けないでください。

2. 带状疱疹ワクチンを接種できない方、接種に注意が必要な方

ワクチン種類	生ワクチン	不活化(組換え)ワクチン
接種できない方	・明らかに発熱している方 ・重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな方 ・带状疱疹ワクチンに含まれる成分でアナフィラキシーを起こしたことがある方 ・その他、予防接種をすることが不適當な状態と医師が判断した方	
ワクチンごとの特記事項	・病気や治療によって、免疫が低下している方	-
接種に注意が必要な方	・心臓病、腎臓病、肝臓病、血液疾患、発育障害などの基礎疾患がある方 ・過去に予防接種後2日以内に発熱、全身性発疹などのアレルギー症状を起こしたことがある方 ・带状疱疹ワクチンに含まれる成分でアレルギーを起こすおそれのある方 ・過去にけいれんを起こしたことがある方 ・過去に免疫不全と診断された方、近親者に先天的免疫不全症の人がいる方	
ワクチンごとの特記事項	・輸血やガンマグロブリンの注射を受けた方 ・大量ガンマグロブリン療法を受けた方	・血小板減少症や凝固障害を有する方 ・抗凝固療法を実施されている方

3. 带状疱疹ワクチンの副反応、予防接種を受けた後の注意事項、健康被害救済制度について

ワクチン種類	主な副反応(厚生労働省資料より)	頻度不明の事象
生ワクチン	接種部位 : 発赤、そう痒感、熱感、腫脹 など その他 : 発疹、倦怠感 など	アナフィラキシー、血小板減少性紫斑病、無菌性髄膜炎
不活化(組換え)ワクチン	接種部位 : 疼痛、発赤、腫脹 など その他 : 筋肉痛、疲労、頭痛、悪寒 など	ショック、アナフィラキシー

- ・接種後30分程度は安静にしてください。また、体調に異常を感じた場合には、速やかに医師へ連絡してください。
- ・接種当日は、激しい運動は控え、接種部位を清潔に保つようにしてください。接種当日の入浴は問題ありません。
- ・予防接種の副反応による健康被害は、極めて稀ですが、不可避免的に生ずるものです。定期接種により、健康被害が生じたものと厚生労働大臣が認定したときは、予防接種法に基づく健康被害救済制度の給付の対象となります。

4. 他のワクチンとの接種間隔

- ・いずれの带状疱疹ワクチンも医師が必要と認めた場合には、他のワクチンと同時接種することができます。
- ・带状疱疹に係る生ワクチンについては、他の生ワクチンと27日以上の間隔を置いて接種してください。

<お問い合わせ先>

仙台市総合コールセンター「杜の都おしえてコール」

☎ 022-398-4894

[受付時間] 8:00~20:00(年中無休)

(土曜・日曜・祝日・年末年始(12月29日~1月3日)は17:00まで)

※個人情報に関わるお問い合わせや専門的な内容は担当部署にお取り次ぎいたします

英語、中国語、韓国語、ベトナム語、ネパール語にも対応

◆このチラシの発行元：仙台市予防企画課 TEL 022-214-8452◆